

舒大剛 楊世文 主編

中國儒學通案

# 清儒學案

(民國) 徐世昌 編纂

舒大剛 楊世文  
王智勇 邱進之 校點  
刁忠民 李文澤  
金生楊

第四分冊



人民出版社



舒大剛 楊世文 主編

中國儒學通案



# 清儒學案

(民國)徐世昌 編纂

舒大剛 楊世文

王智勇 邱進之 校點

刁忠民 李文澤

金生楊

第四分冊

人民出版社

# 目 錄

清儒學案卷六十 梁村學案 .....	(1575)
蔡先生世遠 .....	(1575)
梁村家學 .....	(1585)
蔡先生新 .....	(1585)
蔡先生長澣 .....	(1595)
梁村弟子 .....	(1595)
雷先生鉞 .....	(1595)
官先生獻瑤 .....	(1596)
梁村交游 .....	(1599)
方先生苞 .....	(1599)
李先生紱 .....	(1599)
朱先生軾 .....	(1599)
王先生承烈 .....	(1600)
詹先生明章 .....	(1600)
鄭先生亦鄒 .....	(1600)
張先生鵬翼 .....	(1600)
李先生圖南 .....	(1601)
藍先生鼎元 .....	(1601)

---

<b>清儒學案卷六十一 果堂學案</b> .....	(1602)
沈先生彤 .....	(1602)
果堂交游 .....	(1617)
惠先生棟 .....	(1617)
沈先生廷芳 .....	(1617)
方先生苞 .....	(1617)
李先生紱 .....	(1617)
全先生祖望 .....	(1617)
陳先生景雲 .....	(1617)
茅先生星來 .....	(1618)
徐先生大椿 .....	(1619)
少章家學 .....	(1623)
陳先生黃中 .....	(1623)
<b>清儒學案卷六十二 健餘學案</b> .....	(1624)
尹先生會一 .....	(1624)
健餘家學 .....	(1637)
尹先生嘉銓 .....	(1637)
健餘交游 .....	(1637)
黃先生叔琳 .....	(1637)
黃先生叔璫 .....	(1638)
方先生苞 .....	(1638)
陳先生宏謀 .....	(1638)
沈先生起元 .....	(1638)
刁先生顯祖 .....	(1638)
王先生步青 .....	(1638)
劉先生貫一 .....	(1638)
<b>清儒學案卷六十三 雙池學案</b> .....	(1640)
汪先生紱 .....	(1640)

---

雙池弟子 .....	(1670)
余先生元邁 .....	(1670)
雙池私淑 .....	(1671)
洪先生騰蛟 .....	(1671)
筠谿家學 .....	(1671)
余先生龍光 .....	(1671)
<b>清儒學案卷六十四 臨桂學案 .....</b>	<b>(1673)</b>
陳先生宏謀 .....	(1673)
臨桂家學 .....	(1685)
陳先生蘭森 .....	(1685)
臨桂弟子 .....	(1686)
王先生杰 .....	(1686)
臨桂交游 .....	(1694)
陳先生法 .....	(1694)
沈先生起元 .....	(1694)
王先生步青 .....	(1694)
尹先生會一 .....	(1694)
雷先生鉉 .....	(1694)
楊先生錫紱 .....	(1694)
<b>清儒學案卷六十五 堇浦學案 .....</b>	<b>(1701)</b>
杭先生世駿 .....	(1701)
堇浦交游 .....	(1713)
吳先生廷華 .....	(1713)
厲先生鶚 .....	(1714)
諸先生錦 .....	(1718)
齊先生召南 .....	(1718)
全先生祖望 .....	(1719)
江先生永 .....	(1719)

---

王先生鳴盛 .....	(1719)
王先生昶 .....	(1719)
<b>清儒學案卷六十六 翠庭學案 .....</b>	<b>(1720)</b>
雷先生鉉 .....	(1720)
翠庭交游 .....	(1730)
童先生能靈 .....	(1730)
陰先生承功 .....	(1731)
張先生甄陶 .....	(1733)
翠庭從游 .....	(1733)
伊先生朝棟 .....	(1733)
朱先生仕琇 .....	(1734)
翠庭私淑 .....	(1735)
孟先生超然 .....	(1735)
謝先生金鑾 .....	(1736)
<b>清儒學案卷六十七 味經學案 .....</b>	<b>(1741)</b>
秦先生蕙田 .....	(1741)
味經交游 .....	(1753)
顧先生棟高 .....	(1753)
吳先生鼎 .....	(1753)
吳先生鼐 .....	(1753)
龔先生燦 .....	(1753)
蔡先生德晉 .....	(1753)
沈先生起元 .....	(1753)
方先生觀承 .....	(1756)
盧先生見曾 .....	(1757)
沈先生廷芳 .....	(1757)
王先生昶 .....	(1757)
王先生鳴盛 .....	(1757)

錢先生大昕 .....	(1757)
戴先生震 .....	(1757)
宋先生宗元 .....	(1757)
吳先生玉搢 .....	(1758)
<b>清儒學案卷六十八 息園學案</b> .....	(1759)
齊先生召南 .....	(1759)
息園家學 .....	(1779)
齊先生世南 .....	(1779)
息園交游 .....	(1779)
余先生蕭客 .....	(1779)
沈先生廷芳 .....	(1780)
楊先生椿 .....	(1780)
杭先生世駿 .....	(1780)
周先生春 .....	(1780)
汪先生師韓 .....	(1780)
息園私淑 .....	(1787)
宋先生世榮 .....	(1787)
<b>清儒學案卷六十九 謝山學案 上</b> .....	(1788)
全先生祖望 .....	(1788)
<b>清儒學案卷七十 謝山學案 下</b> .....	(1816)
謝山弟子 .....	(1836)
董先生秉純 .....	(1836)
盧先生鎬 .....	(1837)
蔣先生學鏞 .....	(1837)
樗庵弟子 .....	(1838)
黃先生定文 .....	(1838)
謝山交游 .....	(1838)

李先生紱 .....	(1838)
方先生苞 .....	(1838)
惠先生士奇 .....	(1838)
萬先生經 .....	(1838)
沈先生彤 .....	(1838)
杭先生世駿 .....	(1838)
厲先生鶚 .....	(1838)
萬先生承蒼 .....	(1838)
沈先生炳震 .....	(1839)
謝山從游 .....	(1842)
趙先生一清 .....	(1842)
東甫家學 .....	(1854)
沈先生炳巽 .....	(1854)
謝山私淑 .....	(1854)
王先生梓材 .....	(1854)
<b>清儒學案卷七十一 惺齋學案</b> .....	(1855)
王先生元啓 .....	(1855)
惺齋交游 .....	(1861)
萬先生光泰 .....	(1861)
<b>清儒學案卷七十二 抱經學案</b> .....	(1862)
盧先生文弢 .....	(1862)
抱經弟子 .....	(1882)
臧先生庸 .....	(1882)
李先生兆洛 .....	(1882)
丁先生履恒 .....	(1882)
抱經交游 .....	(1882)
秦先生蕙田 .....	(1882)
翁先生方綱 .....	(1883)



錢先生大昕 .....	(1883)
戴先生震 .....	(1883)
王先生念孫 .....	(1883)
汪先生中 .....	(1883)
梁先生玉繩 .....	(1883)
孫先生志祖 .....	(1883)
丁先生杰 .....	(1883)
趙先生曦明 .....	(1884)
<b>清儒學案卷七十三 方耕學案 上</b> .....	(1886)
莊先生存與 .....	(1886)
<b>清儒學案卷七十四 方耕學案 中</b> .....	(1909)
方耕家學 .....	(1909)
莊先生述祖 .....	(1909)
莊先生綬甲 .....	(1937)
莊先生有可 .....	(1937)
方耕弟子 .....	(1937)
邵先生晉涵 .....	(1937)
孔先生廣森 .....	(1937)
方耕交游 .....	(1938)
朱先生珪 .....	(1938)
<b>清儒學案卷七十五 方耕學案 下</b> .....	(1939)
方耕私淑 .....	(1939)
劉先生逢祿 .....	(1939)
宋先生翔鳳 .....	(1959)
<b>清儒學案卷七十六 良庭學案</b> .....	(1975)
江先生聲 .....	(1975)

良庭家學 .....	(1981)
江先生沅 .....	(1981)
良庭弟子 .....	(1985)
顧先生廣圻 .....	(1985)
江先生藩 .....	(1985)
徐先生頌 .....	(1985)
鈕先生樹玉 .....	(1985)
良庭交游 .....	(1986)
王先生昶 .....	(1986)
錢先生大昕 .....	(1986)
王先生鳴盛 .....	(1986)
畢先生沅 .....	(1986)
段先生玉裁 .....	(1986)
孫先生星衍 .....	(1986)
余先生蕭客 .....	(1986)
子蘭弟子 .....	(1986)
雷先生浚 .....	(1986)
<b>清儒學案卷七十七 西莊學案 .....</b>	<b>(1991)</b>
王先生鳴盛 .....	(1991)
西莊家學 .....	(2008)
王先生鳴韶 .....	(2008)
王先生嗣獲 .....	(2008)
西莊弟子 .....	(2008)
金先生曰追 .....	(2008)
費先生士璣 .....	(2009)
西莊交游 .....	(2009)
惠先生棟 .....	(2009)
沈先生彤 .....	(2009)
秦先生蕙田 .....	(2009)

王先生昶 .....	(2009)
錢先生大昕 .....	(2009)
曹先生仁虎 .....	(2009)
吳先生麥雲 .....	(2013)
<b>清儒學案卷七十八 朗夫學案 .....</b>	<b>(2017)</b>
陸先生燿 .....	(2017)
朗夫交游 .....	(2035)
沈先生彤 .....	(2035)
王先生元啓 .....	(2035)
戴先生震 .....	(2035)
程先生晉芳 .....	(2035)
趙先生佑 .....	(2035)
朗夫從游 .....	(2036)
胡先生祥麟 .....	(2036)
<b>清儒學案卷七十九 東原學案 .....</b>	<b>(2037)</b>
戴先生震 .....	(2037)
東原弟子 .....	(2067)
段先生玉裁 .....	(2067)
王先生念孫 .....	(2067)
孔先生廣森 .....	(2067)
東原交游 .....	(2067)
金先生榜 .....	(2067)
鄭先生牧 .....	(2067)
方先生矩 .....	(2067)
汪先生梧鳳 .....	(2067)
汪先生肇龍 .....	(2068)
盧先生文詔 .....	(2068)
王先生鳴盛 .....	(2068)

紀先生昀 .....	(2068)
王先生昶 .....	(2068)
程先生瑤田 .....	(2068)
錢先生大昕 .....	(2068)
朱先生筠 .....	(2068)
姚先生鼐 .....	(2068)
邵先生晉涵 .....	(2068)
任先生大椿 .....	(2068)
孔先生繼涵 .....	(2069)
洪先生榜 .....	(2069)
洪先生梧 .....	(2069)
汪先生龍 .....	(2069)

**清儒學案卷八十 獻縣學案** .....

紀先生昀 .....	(2070)
獻縣弟子 .....	(2094)
邵先生瑛 .....	(2094)
獻縣交游 .....	(2095)
王先生鳴盛 .....	(2095)
戴先生震 .....	(2095)
王先生昶 .....	(2095)
王先生杰 .....	(2095)
錢先生大昕 .....	(2095)
朱先生筠 .....	(2095)
朱先生珪 .....	(2095)
翁先生方綱 .....	(2095)
邵先生晉涵 .....	(2095)
彭先生元瑞 .....	(2095)
陸先生錫熊 .....	(2099)
浦先生鐘 .....	(2099)

陸費先生墀 .....	(2100)
余先生廷燦 .....	(2100)
<b>清儒學案卷八十一 蘭泉學案 .....</b>	<b>(2104)</b>
王先生昶 .....	(2104)
蘭泉弟子 .....	(2119)
江先生藩 .....	(2119)
戴先生敦元 .....	(2119)
王先生紹蘭 .....	(2119)
汪先生中 .....	(2119)
汪先生昭 .....	(2119)
蘭泉交游 .....	(2123)
王先生鳴盛 .....	(2123)
錢先生大昕 .....	(2123)
朱先生筠 .....	(2123)
翁先生方綱 .....	(2123)
陸先生錫熊 .....	(2124)
戴先生震 .....	(2124)
畢先生沅 .....	(2124)
趙先生翼 .....	(2138)
嚴先生長明 .....	(2146)
朱先生文藻 .....	(2147)
<b>清儒學案卷八十二 讓堂學案 .....</b>	<b>(2148)</b>
程先生瑤田 .....	(2148)
讓堂交游 .....	(2175)
金先生榜 .....	(2175)
汪先生肇龍 .....	(2175)
丁先生杰 .....	(2176)
王先生鳴盛 .....	(2176)

戴先生震 .....	(2176)
段先生玉裁 .....	(2176)
焦先生循 .....	(2176)
阮先生元 .....	(2176)
汪先生萊 .....	(2176)
程先生際盛 .....	(2176)
劉先生玉麐 .....	(2182)

# 清儒學案卷六十

## 梁村學案

梁村學宗程、朱，深醇平實，紹李文貞、張清恪之傳，學派最正，教澤甚長。葛山繼之，兩世經筵竭誠啓沃，無不以正道爲依歸，洵不負所學矣。述《梁村學案》。

## 蔡先生世遠

蔡世遠字聞之，漳浦人，居邑之梁山下，學者稱梁村先生。康熙己丑進士，改庶吉士。請假省親，旋丁父憂。迨服闋赴京，以假滿逾期休致。時安溪李文貞方纂《性理精義》，薦爲分修。書成回籍，主講鼇峰書院。雍正元年，特召入都，授編修，命侍高宗讀，歷官至禮部左侍郎。因失察族姓家人事，降二級調用，尋命復職。十一年，卒，年五十有二。高宗御極，追贈禮部尚書，諡文勤，加贈太傅。先生父璧，以拔貢生爲羅源教諭。儀封張清恪撫閩，特延主鼇峰書院。先生少承家學，爲諸生時，即卓然以古人自期，敦踐履，別義利，博覽經史，務爲有用之學。嘗語學者當爲第一等人。俗儒溺時文，希富貴，不自計樹立若何，此鄙陋之至，無足與論。即讀書止供作文，講學不務躬行，皆可恥也。及入侍內廷，十年無一日之閑。凡進講四書五經及宋五子之書，必近而引之身心，發言處事，所宜設誠而致行者。其觀諸史及歷代文士所述作，則於古今興亡治亂及君子小人消長異同，反覆陳列，三致意焉。嘗與高安朱文端同編歷代《名

臣》、《名儒》、《循吏》諸傳，及所選《古文雅正》，皆有益於學者。著有《鼇峰學約》一卷，《朱子家禮輯要》一卷，《合族家規》一卷，《二希堂文集》十二卷，《詩集》四卷。參史傳、方苞撰《墓誌銘》、李紱撰《墓誌銘》、《學案小識》、《先正事略》

## 文 集

### 歷代名儒傳序

聖人之道具於經，故必知道而後能明經。然傳經亦所以存道，自孟子後，漢儒有傳經之功，宋儒有體道之實。漢初，董江都學貫天人，定一尊於孔氏，罷申、韓、蘇、張之學，儒之醇者矣。然伏、毛、孔、鄭諸儒，各有傳經之功，不可忘也。有宋周、程、張、朱五先生繼起，直接孟氏之傳，聖道如日月中天，道統之所由集矣。而其時師友之相與講習而衍派者，何其盛也！輕漢儒者以爲徒事訓詁，而少躬行心得之功。不知代經秦火，漢儒收拾於灰燼之餘，賡續衍繹，聖人遺經，賴以不墜。漢朝得收尊經之效，定四百年之基，六朝反之而替，唐貞觀因之而昌，漢儒之功，其可掩乎？議宋儒者以爲研精性命，恐少致用之實。不知修己盡性，功施靡極，使程、朱得大用於世，隆古之治可復也。宋季指爲僞學，國隨以微。魯齋之在元，略見施用，有經邦定國之功。明初，正學昌明，成、弘之際，風俗淳茂近古。嘉、隆以後，人不遵朱，學術澶而政紀亦壞，非其明效大驗歟！譬之談周家王業者，漢儒，其后稷、公劉、古公也，宋儒，其文、武、成、康之盛治也。今尚論文、武、成、康，而忘后稷、公劉、古公之肇基累仁，可乎？然使但稱后稷、公劉、古公之能興周，而不及見文、武、成、康之盛治，其遺憾也不又多乎！我皇上尊經重道，作君作師，超越百王。漢宋以來諸儒，特增從祀兩廡，天下靡然嚮風矣。高安朱先生體究正學，服膺儒行，論道經邦之暇，與世遠議修《歷代名儒傳》，因屬其及門安溪李君立侯纂爲傳論。李君通經考道，得家學之正傳，自漢至元，編摩閱歲，高安公與世遠又討論而考訂之。毋取其濫，飾節而墜行者，雖有儒名必黜；毋取其隘，服古而清修者，確守先緒必錄。學者苟能志道以明經，復因經以求道，不歧於異說，不汨於功利，明善克私，惟恐不及，以兼收漢、宋諸儒之益，將蘊之爲德行，行之爲事業，國家有用之儒彬彬然輩出矣。



### 四書朱子全義序

聖賢教人之法，莫切於四子之書；解《四書》者，莫備於朱子。朱子之解《四書》也，有《集注》，有《或問》，有《中庸輯略》，有《論孟精義》，議論往復，則散見於《文集》、《語類》諸篇。讀《四書》者，即朱子之書三復之，而義具矣。四子之書平近無奇，長國家者，恐人之不肯誦讀而玩索也，於是以前經義取士，定為程式，使自證其心得而發揮其蘊奧。非由此者，雖奇材異敏、魁閎博通之士，不得以自進。又恐人之背馳其說，附會舛錯而莫知所折衷也，於是以前朱子之註頒之學宮，使天下讀是書者有所依據而返之於身，以措之天下國家者，可不留餘憾矣！沿習既久，學者視為具文，甚者惑溺於異說，汨沒於講章，厭棄傳註，支離剽竊，無有力究聖人之微言大義者。嗚呼！朱子之學不明，而《四書》之義亦因以晦矣。朱子竭一生之精神以作《集註》，精微洞徹，銖兩悉稱，然必參之《或問》以暢其說，參之《輯略》、《精義》以致其詳，參之《文集》、《語類》以博稽其義類而辨別其旨歸。其覽之也全，故其研之也悉；其知之也至，故其行之也力。以之為文章，則是非不謬於聖人；以之建功業，則巍然為命世之豪傑。然則今之讀四子之書者，專求之朱子之書而已足，而朱子之書，簡帙浩繁，無力者苦不能徧致，又不能合聚於《章句》之末，以得其要約之方也。柏鄉相國魏貞菴先生有憂之，採朱子諸書彙於《集註》之後，名曰《四書朱子全義》。先生輔弼兩朝，聲績論著炳烺天壤，顧此書尚藏於家，未鋟以行世。歲庚寅，季子念庭來守吾漳，始出以授詹兼山先生校而刊之。兼山為吾漳隱君子，考訂既核，剞劂成書。念庭屬世遠序之。世遠海濱末學，何能窺見萬一？顧嘗讀此書，而歎其義蘊之畢該，編次之盡善也。前乎朱子之解《四書》者，朱子或則存之，或則為說以辨之矣；後乎朱子之解《四書》者，其佳者多不出朱子之範圍，其自詡為奇異可喜者，皆朱子《或問》中之所刊駁而不遺者也。其駕空躐等，恃超悟而誇新得者，皆朱子所謂“彌近理而大亂真”者也。其句釋字解，使本文語意反以沈晦，則近世之講章，而朱子所詆為俗儒者也。方今天子神聖，久道化成，特躋朱子於十哲之次，凡朱子之書，靡不通貫而表揚之。是書之出，適當其會。吾知天下之讀是書者，由朱子以上求之四子，沈潛反復，不囿於科舉，而有以自奮其身於聖賢之歸，治隆於上，俗美於下，則貞菴先生之嘉惠後學誠宏且遠也。念庭克承公志，而梓之以行世，亦可謂繼述之大者矣。